

RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2012～2013年度

1960年8月10日創立

第53代会長 和田幸男

第53代幹事 澤邑重夫



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町13-29 茅ヶ崎商工会議所3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2013年5月30日(木) 第2580回例会 天候:曇り 司会:横山貢副幹事 No. 43

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

- ◇歌唱「それでこそロータリー」「浜辺の歌」
- ◇入会セレモニー [水嶋聡君・西山国男君]
- ◇会長挨拶 ◇幹事報告 ◇卓話 「イニシエーションスピーチ」 杉田祐一君・吉田恵子君
- ※例会に引き続き「入退会者歓送迎会」

◎ゲスト・ビジター紹介

岡田和弘様(藤沢RC)

◎入会セレモニー

水嶋 聡君(紹介者:大森久巳男君・山口利通君・和田幸男君) 西山国男君(紹介者:和田幸男君・澤邑重夫君)

◎幹事報告

◇RI日本事務局より

*6月度ロータリーレート 1\$=100円

*RI日本事務局 財団室NEWS 5月号

◇ガバナー事務所より

*ローターアクト地区協議会開催の案内

・6/9(日)13:30点鐘・開会式・鈴寛かまぼこの里 鈴の音ホール・登録料:2,000円

*国際ロータリー第2780地区2012～2013年度『地区大会報告書』

◇タウンニュース

◎例会変更

☆綾瀬春日 6/5(水) 創立記念移動例会(東京スカイツリー見学・屋形船での懇親会)

◎会報 着 台北西北・綾瀬



新入会の西山国男君(左)と水嶋聡君(右)



左)入退会者歓送迎会に於ける乾杯と乾杯発声の斉藤会員 右)出席報告の中山会員 下)歓送迎会中締め「手に手つないで」合唱の図



日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
5/30	2580	40	37	30	1	6	83.78%	
5/16	2578	38	35	28	0	7	80.00%	80.00%

卓話「イニシエーションスピーチ」

杉田祐一君 [2013年4月3日入会 まこと会計]

私はまじめだけれども要領の悪い子でした。いじめを止めに入った時も、腕っぶしが強かったわけではないので、つまはじきにされたこともありましたが。また、合唱大会では音痴であるにも関わらず大きな声を出して歌うものですから、先生から「君はちょっと別のところで練習して」と言われたこともありましたが。ロータリーではたくさん歌う機会がありますが、そこで私が音を外していたら、温かく見守って頂ければと思います。

私が会計の道になぜ進んだのかという話ですが、物心ついて経済に関心を持った頃には既にバブルが崩壊してしまっていて、就職氷河期と呼ばれた時代でした。ですから、どこかに就職しようというよりは、資格を取って自分の生きる道を見つけたいという気持ちが強かったということと、父親が会計事務所に勤めていて、そこで小さい頃から簡単な仕事を手伝って、そこで出した数字が合っていて褒められたりした体験がこの道に進む後押しをしてくれたかと思っています。

私が社会人の一歩目を踏み出したのは、都内の会計事務所でした。その所長は長期信用銀行の顧問をしていた関係で、長銀関係者が足繁く通う環境でした。そこで大きな金額を扱う仕事をさせてもらったことが現在の自分の礎となっているかと思っています。また、その所長は大学やビジネススクールの講師も務めておられて、私がそうした講座のテキストを作ったり、アシスタントとして参加させて頂いたという経験もありました。その中で学んだことは「自分が知っていることと、伝えることは違うものだ」ということでした。それも現在の仕事に繋がっていると思います。

26歳で独立しました。見切り発車の独立だったので、当初は不安もありましたが、支えて下さる人たちがいて、コツコツと仕事をして、2年後に武蔵小杉に事務所を構えることができました。「まこと会計」として、茅ヶ崎RCの元会員である熊沢税理士と一緒に働いたのは5年前です。「まこと」には5つの意味がありまして、「誠」「信」「真」「慎」「実」の5つです。私自身もそれを大切に仕事をしています。その「まこと会計」を設立するに当たりまして、忘れてはならない人物が中村まさ税理士です。当時、熊沢事務所の職員だったのですが、その方がアスベストが原因で発症する中皮腫に罹り、手術しましたが再発し、余命半年ということになった時、「君に仕事を任せたい」と言われました。今でも、当時彼が座っていた椅子に座って、彼が何を考えていたか、と思いを馳せることがあります。

趣味は読書です。ビジネス分野のものを読むことが多いです。いろいろな人の哲学や失敗体験を、2,000円で学べるので、読書には時間を書けるようにしています。また、7～8年前から“神経言語プログラミング”という学問を学んでいます。これは、人間の認知・行動・思考がどう結びついているのかを学ぶもので、アメリカのオバマ大統領やクリントン元大統領なども学んでいるものです。それを学ぶことで、医療関係者の方、教職員の方、子育てに悩むお父さん・お母さん、経営者の方々と一緒にさせて頂く機会があります。医科大学で教鞭を執られている方のコミュニケーション講座に参加させて頂いたり、教職員の方々のお力添えで、中学生・高校生と「これからどんな未来を作りたいか」といったテーマで語り合うこともあります。自分が仕事以外で何が出来るのかということも探究しております。また、子どもを対象に租税教室の講師も務めています。そこから子どもたちが働くことの尊さ、社会との繋がりの重要性、生きる力といったものを伝えていければ、それは私の大きな喜びにもなります。これからは、ロータリークラブを通じて、自分に出来る奉仕というものを探求してまいりますので、よろしくお願い致します。

吉田恵子君 [2013年4月3日入会 湘南ひまわり]

福島県の仲通り白河市から車で茨城県寄りに30分くらいのところに棚倉町という小さな城下町があるのですが、そこで生まれ、育ちました。と言っても、今日はそこの話ではなく、どうして私が福祉の道へ進んだのかということと、私の事業所についてのことをお話ししたいと思います。

介護保険というのは国の社会保障の一環として、平成12年4月に発足しました。その2年前頃に、懇意にしていた銀行の支店長さんに「これから介護保険がスタートするので、是非あなたのような人が参入するといいいよ。スタートラインは皆同じだから、出来るよ」と言われたんですね。そういうアドバイスを頂いた時に、そうかもしれないと思って、勉強をして資格を取るうちに、「これはひょっとしたら、年齢に関係なく、家庭の主婦をはじめ女性の方たちに仕事を与えられるのではないか」と思うようになりました。その後、パソコンが得意な娘に協力してもらって、県の指定事業所となるよう、何度も県に足を運び、全て自力で平成12年5月1日に認可して頂き、事業を開始致しました。

私の理念は「地域に密着して在宅で見てあげたい」というものです。この13年で千人くらいの方をお世話してきましたが、利用者さんの質も変わってきていますし、家族の考え方も変わってきています。団塊の世代の方たちが利用者さんになることが多くなってきて、どちらかと言うと権利を主張されます。そういう意味で難しい時代になってきましたが、これが私の天命だと考えております。

スタッフは70名ほどいるのですが、男性は3人だけ。ほとんど全てが女性なんです。その中で10年以上勤務して下さっている人が20名以上います。それは本当にうれしいことですね。介護は資格の世界なんです。在宅の方のお世話をするにはヘルパー2級の資格が必要で、さらにその上に介護福祉士、ケアマネージャーといった資格があります。これはなかなか難しい試験なんです。それで数年前、こんなことがありました。うちではそろそろ重点的に介護福祉士の資格を取ってもらうようにしようと、社内でも勉強会を始めたんです。それで、19人が受験して17人が合格したんですね。そのことを名古屋で行われたフォーラムで「うちは小さな事業所だけど、こんなに合格したんですよ」と報告したら、東京新聞の記者の方が取材して下さいました。それで、東京新聞の文化欄で理念ともども大きく取り上げて下さいました。合格者の17名のうち9名が60歳以上のヘルパーさんだったので、そのことにも皆さん驚いたんですね。年をとっても出来る仕事なんです。「利用者さんに感謝されるのが嬉しい」というヘルパーさんがたくさんいてくれるのが嬉しいです。

平成18年に「小規模多機能型居宅」というサービスが始まりました。これは中学校の学区に1つ、25名が住むことの出来る家を作って、そこで地域密着の在宅型サービスです。私は「これだ」と思ったのですが、なかなか難しいんですね。在宅型ヘルパーさんについては3年ごとに法改正があって、最初の3年間は「家人が出掛ける間の半日、見守る」ということも大丈夫だったのですが、現在では「身体30分」という仕事が多くなってきています。利用者さんもお金が使えなくなってきています。これだと、おむつ換えとちょっとした体の清拭くらいしか出来ないわけです。ですから、どれくらいの予算が組めそうか、ということをお最初に聞かなければならないんですね。そうしたサービスを組むのがケアマネージャーの仕事なのですが、以前より難しいものになってきました。このほかにも独居の方々への対応など、難しい問題もたくさんありますが、地域に密着して頑張っていきますので、どうかよろしくよろしくお願い致します。

